

2026 年 8 月 25 日
トラストパーク株式会社

古宇利島の車泊（くるまはく）を起点に、 やんばる・伊平屋島をつなぐ新しい滞在モデルを実証 「沖縄北部バケワーク実証プロジェクト」7月発足、実証開始に向け始動

観光でも移住でもない“第三の滞在”を沖縄北部で実証。車泊・レンタカー・キャンピングカーレンタル・地域体験を組み合わせ、バケワークと二地域居住の可能性を検証します。

九州周遊観光活性化コンソーシアム（代表機関：トラストパーク株式会社）は、2026 年 7 月、沖縄北部エリア（やんばる地域等）における新しい滞在・周遊・二地域居住の可能性を検証する「沖縄北部バケワーク実証プロジェクト」を発足させました。

本プロジェクトは、古宇利島を起点に、世界自然遺産やんばる地域と沖縄県最北端の離島・伊平屋島をつなぎ、車泊、レンタカー、キャンピングカーレンタル、地域体験コンテンツ等を組み合わせた新しい滞在スタイルを実証するものです。

観光でも移住でもない“第三の滞在”として、沖縄北部におけるバケワークと二地域居住の入口づくりを推進してまいります。



背景

沖縄北部には、世界自然遺産やんばるの森、古宇利島、伊平屋島など、国内外から注目される自然・文化・地域資源が点在しています。

一方で、観光需要は那覇周辺や本島中部、西海岸リゾートエリア、名護・本部方面に集中しやすく、沖縄北部エリア・やんばる地域等では通過型・日帰り型の利用が多いことが課題となっています。

本プロジェクトでは、既存施設や地域資源を活用しながら、観光客がより長く、静かに、何度も地域を訪れる仕組みづくりを目指します。

プロジェクト概要

名称	沖縄北部バケワーク実証プロジェクト
発足時期	2026 年 7 月
実証開始	2026 年 11 月以降予定
対象エリア	沖縄北部エリア（やんばる地域等）
第 1 フェーズ	今帰仁村（古宇利島）
第 1.5 フェーズ（予定）	伊平屋村（伊平屋島）
第 2 フェーズ（予定）	国頭村、大宜味村、東村、宜野座村

コンセプトは、「昼はやんばるを巡り、夜は古宇利島に帰る。そして、伊平屋島へ渡り、離島で暮らすように滞在する。」バケーションとワークを組み合わせた「バケワーク」をテーマに、ホテル滞在だけにとどまらない、自由度の高い沖縄北部の旅を提案します。

主な実証内容

1. 古宇利島を拠点とする周遊滞在の実証

古宇利島の「BBQ330 and yummy」を、車泊・RV パーク smart の先行拠点として位置づけ、地域体験、やんばる周遊を組み合わせた滞在モデルを検証します。RV パーク smart の予約・決済・利用管理の仕組みを活用することで、小規模・予約制の車泊拠点として適正に運用し、古宇利島を「日帰りで訪れる島」から「夜にとどまり、やんばるを巡る拠点」へと展開します。夕方・夜・早朝の滞在価値を高め、沖縄北部における新しい周遊滞在モデルの構築を目指します。



2. 伊平屋島における離島型バケワークの検証

伊平屋島では、村営フェリー、そよかぜレンタカー、車泊、体験コンテンツを組み合わせ、離島ならではの柔軟な滞在モデルを検証します。既存の民泊や体験学習を尊重しながら、車泊を前後泊やロングステイの一部として活用する補完モデルを目指します。

3. 二地域居住・関係人口づくりの推進

今後、短期滞在やモニター利用を通じて、移動手段、滞在環境、地域体験、ワーク環境に関する利用者ニーズを把握していきます。あわせて、滞在日数、周遊ルート、地域消費、再訪意向などのデータを収集・分析し、二地域居住や関係人口づくりにつながる実証モデルの構築を目指します。

主な実証・連携体制

本プロジェクトは、古宇利島における車泊拠点の整備を契機に、地域事業者、自治体・観光団体、交通・観光関連事業者、外部支援団体等と連携しながら推進します。今後、古宇利島を起点に、やんばる地域や伊平屋島へと段階的に実証範囲を広げ、沖縄北部における新しい滞在・周遊モデルの構築を目指します。主な実証・連携体制は以下の通りです。

- ・車泊事業の推進、予約管理、利用データ取得・可視化（トラストパーク株式会社／九州周遊観光活性化コンソーシアム）
- ・キャンピングカーレンタル等による移動・滞在手段の提供（ひとつなぎ株式会社／アソビバワークス）
- ・古宇利島、伊平屋島における地域拠点との連携（BBQ330 and yummy、そよかぜレンタカー等）
- ・やんばる地域体験コンテンツ造成（株式会社 Beyond／Origami Concierge）
- ・沖縄県民向けのプロモーション（株式会社パムローカルメディア／ちゅらとく）
- ・関係人口・二地域居住支援（株式会社おてつたび）
- ・観光 DX、地域データ活用支援（一般社団法人 LINKED CITY コンソーシアム）
- ・二地域居住に向けた実証支援・連携可能性の検討（一般社団法人シェアリングエコノミー協会／ANA、JAL 等の航空会社）

ターゲットと外部支援団体

沖縄北部バケワーク実証プロジェクト

国内観光客・二地域居住者／インバウンド／沖縄県民に向けた訴求と支援体制

1 国内観光客・二地域居住者向け	2 インバウンド向け	3 沖縄県民向け
連携先: 一般社団法人シェアリングエコノミー協会、ANA、JAL等の航空会社	連携先: 株式会社Beyond	連携先: 株式会社パムローカルメディア／ちゅらとく
想定ターゲット: 都市部のリモートワーカー、二地域居住検討者、多拠点生活者、長めに沖縄北部を回りたい国内旅行者	想定ターゲット: 自然、ローカル体験、離島、サステナブルツーリズムに関心の高い訪日外国人旅行者	想定ターゲット: 沖縄県内在住者、週末に北部へ出かけたいファミリー・友人グループ、ペット同伴層、アウトドア・BBQ・海遊び・サウナ・釣りなどを楽しむ層
訴求軸: 複数動、レンタカー、キャンピングカーレンタル、車泊を組み合わせた、沖縄北部での「試し暮らし」を提案。観光でも移住でもない、新しい地域滞在の入口づくりを進めます。	訴求軸: 世界自然遺産やんばる、古宇利島、伊平屋島をつなぐ地域資源型の沖縄北部旅を造成し、大型観光地を巡るだけではない、自然と地域に触れるスローな旅を提案します。	訴求軸: 「宿泊旅行」よりも気軽に、日帰りでは少し物足りない北部旅を、車泊で一泊に変える。週末のリセット旅として、沖縄県民に向けた新しい北部滞在を提案します。

多様なターゲットに合わせた訴求で、沖縄北部における新しい滞在スタイルを広げます

期待される効果

本プロジェクトを通じて、沖縄北部における滞在時間の延長、地域内消費の拡大、分散型観光の推進、関係人口・二地域居住の入口づくりを目指します。また、利用者の属性、移動ルート、滞在日数、消費行動、満足度などを把握し、今後の観光施策や地域連携に活用していきます。

今後の展開

プロジェクト発足後、関係自治体・地域事業者・外部支援団体との連携を進めながら、2026年11月以降の実証開始を目指します。



第1フェーズでは、今帰仁村・古宇利島を先行拠点として、車泊拠点の運用、キャンピングカーレンタルとの連携、地域体験コンテンツの造成、利用者データの取得を進めます。

第1.5フェーズでは、伊平屋村・伊平屋島において、村営フェリー、そよかぜレンタカー、車泊、体験コンテンツを組み合わせた離島型バケワークモデルの検証を予定しています。

第2フェーズでは、国頭村、大宜味村、東村、宜野座村を含むやんばる地域への展開を視野に、広域周遊ルートや地域連携の可能性を検討します。

「車泊・RVパーク smart」とは？

「車泊（くるまはく）・RVパーク smart」は、総務省「IoT サービス創出支援事業」の「シェアリングエコノミー型九州周遊観光サービスモデル事業」において、RVユーザーが地域を周遊しながら、安心・安全に車中泊できる仕組みとして開発されたサービスです。2017年11月から熊本・長崎の7地域で実証を開始しました。

オンライン予約・事前決済、QRコードによるチェックイン、電源設備などを活用し、平時には観光周遊の促進や滞在時間の延長、地域消費の創出につながる滞在拠点として活用されています。

（概要：<https://www.soumu.go.jp/midika-iot/project/373/>）。

日常時



非常時



災害時には、車中避難者や支援者の一時滞在・活動拠点としての活用も期待される、フェーズフリーの考え方を取り入れた仕組みです。

なお、車泊は「シェアリング・着地型観光 DX サービス『車泊（くるまはく）』』として、フェーズフリーアワード 2026 の事業部門に入選しています（概要：https://aw.phasefree.net/entry_work/pfaw2026b162/）。

さらに、災害時における車泊施設の活用・支援の取り組みとして、令和 8 年熊本地震に伴う「車泊」施設の開放・支援情報を公開しています。

■ 令和 8 年熊本地震に伴う「車泊」施設の開放・支援ページ

<https://www.trustpark.co.jp/news/2026/08/20260805/>

「バケワーク」とは？

「バケワーク」とは、バケーションとワークを組み合わせた新しい滞在スタイルです。旅先で観光や自然体験を楽しみながら、Wi-Fi 環境などを活用して仕事も行うことで、通常の旅行よりも長く、地域で暮らすように滞在することを目指します。

沖縄北部バケワークでは、古宇利島を拠点にやんばる地域を巡り、伊平屋島では離島ならではの体験を楽しむことで、観光でも移住でもない“第三の滞在”を提案します。

■ 無人車中泊サービス『RV パーク smart』公式サイト

<https://rvparksmart.jp/>

■ トラストパーク 企業情報サイト／ニュースリリース

<https://www.trustpark.co.jp/news>

本件に関する
お問い合わせ先

トラストパーク株式会社
ソリューション部 西岡、田ノ上、山口、山崎
特販部 徳原、有隅
092-437-8934